

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ルンドマート宇治伊勢田店	階数	地上1F
建設地	京都府宇治市伊勢田町名木二丁目	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	200人
気候区分		年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2012年5月2日
敷地面積	6,088 m ²	作成者	(株)水原建築設計事務所
建築面積	3,045 m ²	確認日	2012年5月8日
延床面積	2,939 m ²	確認者	(株)水原建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 400%
建築物の取組み: 59%
上記+: 54%
上記+: 54%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 お客様の安全・健康を第一に考えた室内環境としている。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 福祉対策・快適性・安全性等を配慮した計画としている。 維持管理についても長期の保全を配慮している。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 周囲への自然環境を配慮した建物配置としている。 敷地内においても適切な量の緑化を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ハイサイドライトを採用し、自然光を取り入れている。 太陽光パネルを設置し自然エネルギーの再生利用を行っている。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 リサイクル資材を積極的に利用している。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 振動・騒音・光害等周辺へ及ぼす環境対策について配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される